

Planet

企業ステートメント
クラレグループ行動規範
トップステートメント
サステナビリティ長期ビジョン・サステナビリティ中期計画
クラレグループのマテリアリティ
Planet
環境マネジメント
地球温暖化防止
環境負荷低減の取り組み
環境会計
環境データ
サステナビリティ中期計画 Planet

Product
People
ガバナンス
GRIスタンダード対照表（内容索引）
クラレレポート（統合報告書）/ サステナビリティウェブサイト
ランドセルは海を越えて
イニシアティブ

サステナビリティ中期計画 Planet 重点施策

	項目		ベンチマーク	2024年度	2026年度
Planet	GHG排出量	Scope1+2	2019年度:3.2百万トン-CO ₂	2019年度比、排出量を増やさない	
		Scope3	2019年度:0.9百万トン-CO ₂ (国内のみ)	・グループ全体を対象とし、2/3以上を占める排出源を特定する ・2023年度に2024年度・2026年度の削減数値目標を策定する	

2022 年度実績と 2023 年度目標

	項目		2022年度実績	2022年度評価	2023年度目標
Planet	GHG排出量	Scope1+2	2,896千トン-CO ₂	2019年度比(3,230千トン-CO ₂)以下の目標達成	2019年度比、排出量を増やさない
		Scope3	・グループ全体を対象とし、2/3以上を占める排出源を特定する ・2023年度に2024年度・2026年度の削減数値目標を策定する		

環境マネジメント	地球温暖化防止
環境負荷低減の取り組み	環境会計
環境データ	サステナビリティ中期計画 Planet

環境会計

- 当該期間の投資額総計：290億円
- 当該期間の研究開発費総計：139億円

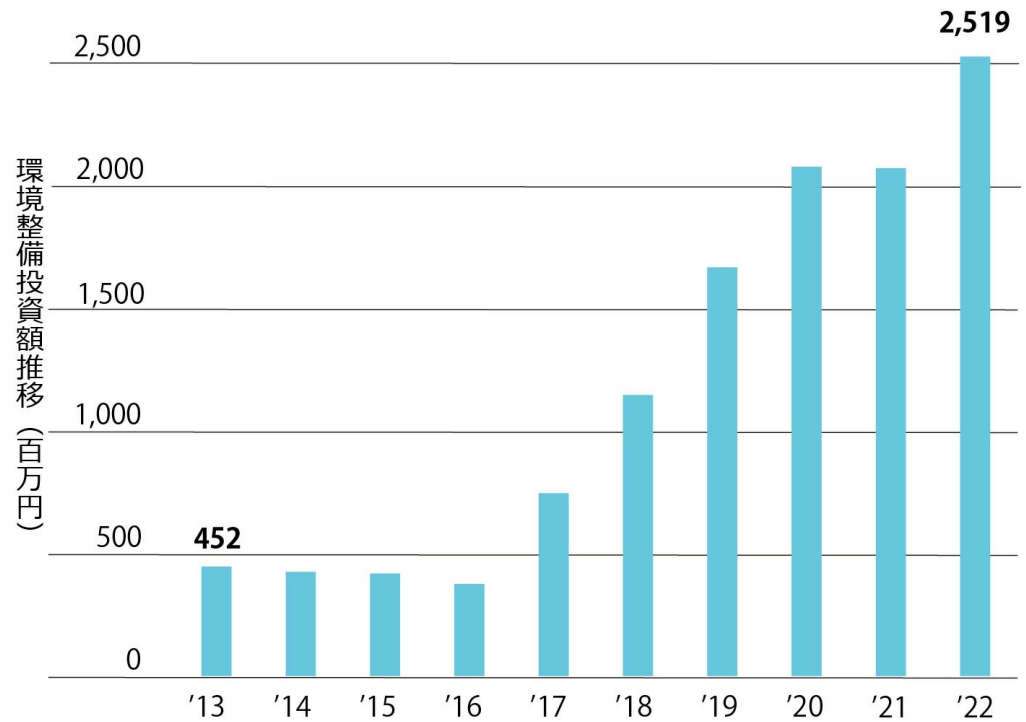
環境保全コスト（百万円）

分類		投資額	費用額	主な内容
事業所エリア内コスト	公害防止コスト	1,528	1,947	環境設備運転費用、有害化学物質処理費用
	地球環境保全コスト	30	20	省エネ活動費用
	資源循環コスト	679	683	リサイクル費用、廃棄物処理費用
	計	2,237	2,650	
上・下流コスト		-	126	梱包材料の回収・再利用、容器包装の改良
管理活動コスト		60	147	ISO14001、環境測定、環境教育
研究開発コスト		223	117	環境配慮型製品の開発
社会活動コスト		-	0	緑化、美化、地域住民への環境情報提供

分類	投資額	費用額	主な内容
環境損傷コスト※	-	-	
合計	2,519	3,040	

※環境損傷コストは公害防止コストに含む

環境整備投資額推移



【ご注意】会計年度変更に伴い、本レポートにおける環境関連データはグラフも含め次の通りとなっています。
・2013年度以前：4月-3月の12ヶ月実績
・2014年度：4月-12月の9ヶ月実績+2014年1月-3月実績（または推定値）（2013年度と重複しています）
・2015年度以降：1月-12月の12ヶ月実績

環境保全効果（クラレ）

区分		単位	2020年度	2021年度 ¹⁾	2022年度 ²⁾	増減 2)-1)
公害 防止 活動	SOx排出量	トン	280	395	338	▲ 57
	NOx排出量	トン	1,623	1,662	1,497	▲165
	ばいじん排出量	トン	32	31	44	13
	PRTR物質排出量	トン	719	862	774	▲ 88
	COD負荷量	トン	516	482	468	▲ 14
地球 環境 保全 活動	温室効果ガス排出量	千トン- CO ₂	1,221	1,331	1,227	▲104
	エネルギー使用量	千KL (原油換 算)	418	447	425	▲ 22

区分		単位	2020年度	2021年度 ¹⁾	2022年度 ²⁾	増減 2)-1)
資源 循環 活動	廃棄物非有効利用外部処分量	トン	1,772	1,851	1,960	109
	廃棄物有効利用率	%	97.2	97.0	96.3	▲ 0.7
	水資源使用量※	百万m ³	71	70	67	▲ 3
	総排水量※	百万m ³	65	64	62	▲ 2

※海水を除く

環境データについての詳細は下記ページをご覧ください。

[> 環境データ](#)

①環境会計の集計に当たっての前提条件 - 対象期間：2022年1月1日～2022年12月31日 - 対象範囲：クラレ
②環境保全コストの算定基準 - 減価償却費：定額法 - 複合コストの計上基準：原則100％環境保全項目に計上していますが、一部按分集計しています。
③環境保全効果の算定基準 前年度環境負荷総量との比較により算出。なお、生産量調整は行わず、前年度との単純比較です。
④環境保全対策に伴う経済効果の算定基準 実質的效果としてリサイクル収入などを把握していますが、環境保全コストをマイナス処理しています。

企業情報	製品情報	研究開発	サステナビリティ	投資家情報
会社概要	事業から探す	基本方針	企業ステートメント	経営方針
ごあいさつ	製品名から探す	技術と製品	クラレグループ行動規範	IRニュース
企業ステートメント	キーワードから探す	組織・体制	クラレグループ人権方針	クラレって？
役員	製品のはてな	歴史	トップステートメント	業績・財務情報
組織図		トピックス	サステナビリティ長期ビジョン・サステナビリティ中期計画	IRライブラリー
沿革			クラレグループのマテリアリティ	株式情報
主な受賞歴			Planet	IRカレンダー
主要グループ拠点			Product	よくあるご質問
会社案内動画			People	
テレビ番組動画			ガバナンス	
広告ギャラリー			GRIスタンダード対照表（内容索引）	
			クラレレポート（統合報告書） / サステナビリティウェブサイト	
			ランドセルは海を越えて	

